

発生日	国名	種別	概要
2020年 6月19日	米国	崩壊	米ミシガン州で連日の豪雨により2つのダムが決壊し、ミッドランド郡に非常事態宣言が出された。ミッドランドの中心部では20日時点で、水位が最高で1.5メートルに達するなど、深刻な洪水被害に見舞われた。ウィットマー知事は会見で、「500年に一度」の洪水で地域住民1万人が避難したと述べた。
6月29日	中国	土砂・洪水氾濫	6月29日、四川（Sichuan）省の冕寧（Mianning）県で週末に集中豪雨のため少なくとも12人が死亡し、河川の増水により多数の住民が避難を余儀なくされた。
6~7月	中国	土砂・洪水氾濫	中国南部など幅広い地域で6月から続く記録的な豪雨による洪水などで、これまでに27省市・自治区で延べ約3,800万人が被災し、死者・行方不明者が計141人に上った。建物2万8千棟が倒壊などの被害を受けた。豪雨による被害は、長江流域を中心に深刻化した。長江の中・下流や周辺の湖などで水位の上昇が続き、212の河川で水位が警戒ラインを超過した。湖北省などで土砂災害も発生し、経済的な損失も拡大した。
7月2日	ミャンマー	地すべり	ミャンマー北部カチン州パカンの翡翠鉱山で7月2日朝、積み上げられた土石の山が崩れ、多数が生き埋めになった。救急当局は少なくとも162人が死亡したと明らかにした。救急当局によると、現場には採掘の際に排出された土石が積まれている。モンスーンによる大雨で地盤が緩み、崩落したとみられる。土石の山から翡翠を探していた人たちが巻き込まれた。ミャンマーは世界有数の翡翠産地で、パカンでは2015年にも100人以上が死亡する土石崩落事故があった。正規の採掘業者のほか、出稼ぎの鉱山労働者も多い。
7月9日	ネパール	土砂・洪水氾濫、地すべり	7月9日から続く豪雨により、60人が死亡、41人が洪水や地すべりで行方不明となった。何百人もの人々がネパールの大洪水のために起こった大規模な洪水と地すべりの影響を受け、約1,000人が学校などに避難した。同国西部地区で影響は最も顕著である。
7月13日	インドネシア	土砂・洪水氾濫	7月13日に南スラウェシの北ルウリージェンシーの多くの地区を襲った鉄砲水により少なくとも21人の住民が死亡した。7月15日午後時点で、156家族（655人）が避難し、4,202家族（15,994人）が影響を受け、4,930戸が水没し、10戸が流失し、213戸が土砂で埋まった。また、電力網の復旧や州横断道路の土砂の撤去などの作業が進められている。清潔な水、医薬品、ファーストフードなどが不足しているところがある。洪水は過去2日間に激しい雨によって引き起こされた。マサンバ川、ロンカン川、スンガイラダ川が氾濫し、鉄砲水が発生した。
8月7日	インドネシア	土砂崩れ	インド南西部ケララ（Kerala）州で、モンスーンの豪雨をきっかけに発生した大規模な土砂崩れに茶農園の労働者数十人が巻き込まれ、少なくとも43人の遺体が収容された。土砂崩れは7日、同州の州都ティルバナタプラム（Thiruvananthapuram）から約250キロ離れたイドゥッキ（Idukki）県で発生。被害者の捜索や救助活動は続いた。地元メディアの報道によると、現場地域には78人ほどが暮らしていたとみられるが、その多くが行方不明となった。ケララ州では毎年、モンスーンの時期に洪水が発生し、犠牲者が出ている。
8月26日	アフガニスタン	土砂・洪水氾濫	豪雨に見舞われているアフガニスタン東部パルワン（Parwan）州の州都チャリカル（Charikar）で、鉄砲水が発生し、100人以上が死亡、家屋数百戸が損壊した。首都カブール北方に位置するチャリカルでは一晩中豪雨が続き、倒壊した建物のがれきの下敷きになっている人々の救出活動が続けられた。
9月2日	ネパール	土砂・洪水氾濫、地すべり	Baglung地方Dhorpatan村にて土砂・洪水氾濫で14人が死亡、41人が行方不明となった。
9月11日	コンゴ	土砂崩れ	9月11日、コンゴ民主共和国東部の南キブ州にある金鉱で、降り続いた雨の影響で土砂崩れが起き、採掘用の坑道に土砂や水が流れ込んだ。坑道の中には採掘者など50人以上が閉じ込められた。
9月13日	ネパール	土砂・洪水氾濫、地すべり、土砂崩れ	ネパール東部のSindhupalchok（シンドウパルチューク）地方Bahrabise（バラビセ）村のGumthangで13日、豪雨による土砂崩れがあり、政府によると少なくとも11人が死亡、20人が行方不明となった。この土砂崩れで民家11棟が破壊され、5人が負傷。ネパールやインド、バングラデシュでは、8月にモンスーンの大雨による大規模な洪水や土砂崩れが相次いでいた。
9月28日	インドネシア	地すべり	28日、北カリマンタン州タラカン市で豪雨に起因する地すべりが3箇所発生し、10人が死亡した。避難はおこなわれていなかった。